



御用聞き物語

……◇キャスト◇……
平九郎……小林 桂樹
トシ子……中村メイ子
夕子……河内 桃子
—20日から 民 劇—

「もう三河屋ですが、奥さん今日御用聞きに平九郎は感傷の良しで女房が証文取りに入つて奥さんに叱られている。それをその奥、彼はまた酒場の御用聞きになつたばかりのボクヤナナ。地方の大学を卒業して、叔父の将吉の二階に居候しながら会社勤めの口をさがしているうちに小僧が止めてしまったので臨時に御用聞き

天然色で描いた

動物と植物の生態

山脈 白い世界

大映ではかねてから、ドイツの長編記録映画「自然の驚異」をフィルムに取ると共に日本映画界の長編記録映画として製作しようとしたものが「白い山脈」である。この映画は、日本人自身にもあまり知られていない「日本の風土」といわれる日本アルプスの全容を映画によって初めて紹介しようとするもので、天然記念物として立入禁止区域の白馬岳の岩花畑に咲く珍しい植物をはじめ、さまざまな高山植物や日本にしかないサンショウウオ、ヤマメ、留中フナコト、それにシロカ、カモシカ、クマ、モリオオカミ、コウモリ、タカ、キツネ等の動物たちの生態を写し、自然の四季の推移を描く。

米の山岳地帯二万年間、撮影した。洋裁店「ナルシス」を経営する早川千鶴子は店を閉めてホッとする。一行は、長野県大町市にある山岳博物館を機軸とし、地元四県の菅野、富山、信州大の動物学者等の協力を得て、情報、指針をうけながら、立山連峰、白馬岳、針ノ木岳、五郎岳、奥島岳、槍ヶ岳、穂高岳、乗鞍岳と中部山岳国立公園の全域にわたって、想像に絶する苦難に耐えて、百数十種の動物の生態をカメラに収める事に成功したが、その過程は距離は七千マイルに達したといわれている。製作費は一億田という莫大な額に上り、実際に撮影されたカラーフィルムは四万フィートを越えている。

街燈

平 館
その晩、街燈がぼんやりと夜霧を照らし、シャボンが甘く流れてきたので、烈火の如く燃つたハジの

熱砂の舞

ひかり座
父のあとをついで首領を継承して、だが弟のカシムとヒラはこれを快く思わず、ザラクは首領となるため父の死を心待ちにして、このハジに告げ口した。しかもザラクは、父の口にはへる多くの妻のなかの一人サルマと愛しあうようになり、二人が抱擁しているところを父に見られてしまったので、烈火の如く燃つたハジの

大暴れ

東映の大名ばやし
徳川十代将軍は、俗に「将軍」とも呼ばれその金子の数は四十余人の多きに上つた。幕府の首魁たちは、金子の処分を窮し、諸藩へ天降りの獅子舞を強制した。一つは諸藩に徳川の親藩を増し、一つは諸藩の列に英邁の人材を採集し徳川家の安泰を策する一石二鳥の案でもあった。武州忍二万石松平家の藩主志忠も、御用にも押しつけられる一人であった。このため徳川の名義京極鶴三郎は隠居を命ぜられ、替った鶴三郎は、日夜酒に狂い、腰元共を追い、お家思いをいしめ、たまたま手討ちにされるなど、忍二万石には、暗雲がたれこめていた。

大名囃子

市川右太衛門
三丁町の音かきで暴れ大さののた回し

喧嘩社員

高倉 健
中原ひとみ
浦里はるみ
三条美紀

街燈

澄苗 純
真早 良
田原 々
岡中 多
路二子
夢良 洋
丘山 田
月葉 南

黄色いからす

全国各団体推薦
イーストマンカラー映画
肉親の愛を求めた幼少子の涙の訴え！
今向残る戦争のつめあと！

平館

20時

東映

20時

大暴れ

東映の大名ばやし
共が顔に似合わぬお金の手紙の早業に地をばわされた。

看護婦 家政婦
の御用命は：電三〇七番へ
労働大臣認可 平 看護婦 家政婦 幹旋所
尚派出多忙 看護婦 家政婦 幹旋所

純毛手編毛糸
640円
ダイヤモンド毛糸
春色全色揃いました
半ポンド800円
ハシモトヤ糸店
平市銀座街 TEL14

貨切の御用命は
電話 640番
尾子タクシー